

## 嵯峨野といえば、紅葉。もみじの苔玉作りました。

旅の思い出にいかがですか。

紅葉には早かったお客様、自宅で紅葉を楽しむ方法、説明しています。

紅葉だけでなく、若葉、青葉も、きれいです。

嵯峨野の自然を、思い出して、再度のお越しをお待ちしております。

嵯峨野 マルホン

## 苔玉どうやって育てたら良いの？その疑問に答えます。

苔も植物も、光合成により成長します。その三大要素は

日光	水	空気(炭酸ガス)
直射日光の当たらない 明るい室内 苔は、直射日光に弱い。 レースカーテン利用。  もみじなどの発芽、新芽は できるだけレース越しの日光を よく当てて下さい、時々位置を 変える(葉の向きが片寄る) 青葉になれば、問題ない。	水はカルキを含まない浄化水使用。 バケツに浸け込み(泡なくなるまで) 植物だけ持たず、下から支えて下さい。 給水の管理が最も重要です。 多すぎると植物根ぐされ、少ないと枯死。 では、給水のタイミングは？ 視覚 苔が乾き気味 触覚 手で触れ冷たくない。 浸けこみ給水後、次回までの日数計ります。 各シーズン毎計り、その繰り返しでOKです	密封の室内は避ける エアコン、窓からの強い風は 避ける

最も重要な水分は、苔と植物では、多少異なるため、理解が、必要です。

苔の乾き気味 は、内部では植物の根は、乾燥前で、植物を守ります。

つまり、苔の乾き気味は、育て方の重要なポイントです。

苔玉の形は、球状が一般的です。小さくてかわいいと、好評ですが、大きな問題があります。

小さいことは、乾燥が早い、枯死の可能性が高いのです。

小さくてかわいい苔玉と、石ポット(特別考案品)の組み合わせで安心して、育てることができます。

苔玉石ポットの説明と注意点です。

- ①苔玉と石ポットは、切り離せない。
- ②石ポットの中には、土があり、その水分が、苔玉に供給されます。
- ③植物の根張りは、小さな苔玉では、不足、石ポットの土とで、元気に育ちます。
- ④石ポットの底には、フィルターがあり、土の流出を防ぎます。  
また、給水性があるので、受皿の水を吸い上げます、外出時応用できます。
- ⑤給水は、石ポットの底と、苔玉を持ち、バケツの水に漬け込む。  
泡が出無くなれば、元にもどす。
- ⑥給水のタイミングは、苔の乾き気味。または、1週間毎に。  
数値管理されたい方は、別に説明します。

\*この育てかたは、流木苔玉にも応用できます。